

切削管理システム

施工履歴

MG

切削材積込

インフラ接触防止

国土交通省
新技術情報
提供システム

NETIS 登録
New Technology Information System

登録番号

CG-250004-A



GNSSによる位置情報取得
正確な位置情報

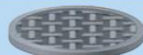
ER-555F標準搭載ACCSデータ取得
リアルタイムで切削厚さを取得

3次元設計データ(TIN)施工管理
面管理の実現

クラウドによるデータ管理
ヒートマップによる見える化



切削材積込管理でお知らせ
切削厚さ+位置情報=正確な量



インフラ位置付近にて警告
位置情報により情報伝達



NETIS 新技術情報提供システム
New Technology Information System

切削材積込管理システム



KT-200145-VE



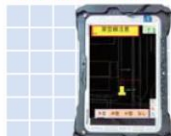
転圧管理システム



OK-170005-VE



インフラ設備接触警告システム



NETIS登録申請中



道をつくり、道を生かす。

UNITE
kanamoto ALLIANCE GROUP
www.unitenet.co.jp

ユナイテ株式会社

本社／東京都中央区日本橋人形町一丁目14番8号
JP水天宮前ビル4階

TEL 03-6667-8471
FAX 03-5644-5780

■「切削管理システム」に関するお問い合わせは
広域営業部 建設ICT推進課

TEL 0480-55-0710

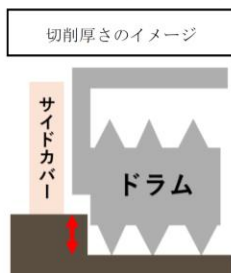
概要

令和8年度現在、国土交通省が示す ICT 活用工事（舗装工（修繕工））において、施工・出来形管理要領を満たす機器のひとつである。

また、本システムは NETIS 登録技術（登録番号：CG-250004-A）である。

切削機（ER555F）に本システムを設置し、切削を行いながら設計データと実際の切削厚さの差分を計算・記録するものである。

取得データはヒートマップにて出力可能であり、これを基に出来形管理資料の作成が可能となる。



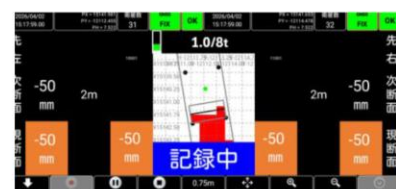
特長

●位置情報の取得

- GNSS アンテナ 2 台(左右)を設置し、4G 回線を用いて通信業者の補正情報を取得することで、高精度な位置情報 (X,Y 座標) を取得する。
- 切削厚さは切削機に標準装備の センサー (ACCS)より取得される。

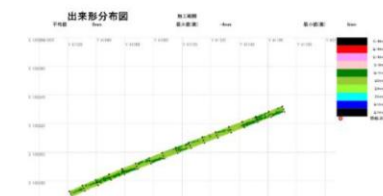
●ガイダンス機能

- システム本体ディスプレイには、現在地の切削設計厚さに加え、次の設計断面までの距離や切削設計厚さを表示する。
- オペレーターはディスプレイを確認しながら施工できるため、従来必要であった路面マーキング作業が不要となり、省人化・省力化に寄与する。



●ヒートマップ機能

- 施工中に専用クラウドへデータを送信し解析するため、施工後 15 分ほどでヒートマップの速報値が確認可能である。
- 設計厚さと実際の切削厚さの差異を視覚的に把握することができる。



●切削材過積載防止機能

- ダンプへの切削材積込において、過積載を防止するための機能。
- GNSS アンテナの位置情報から切削機の移動距離をリアルタイムに求め、切削材の積込量を推定する。
- 積込規定量に近づくとき、ランプおよびアラームにより警告を行う。



●道路インフラ接触防止機能

- インフラ設備に接近した際、ランプやアラーム音で警告。
- マンホールや雨水栓の位置をディスプレイ上に表示し、事前に注意喚起を行うことで誤切削を防止する。

